

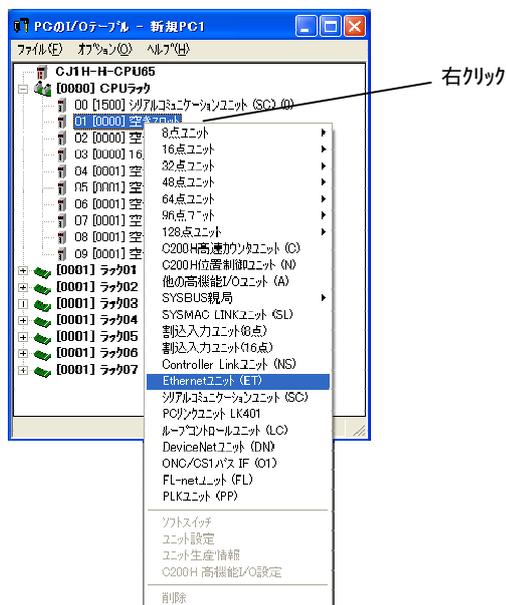


4 . CX-Programmer での設定手順

CX-Programmer を起動し、機種設定を行います。



「PC の I/O テーブル」で、Ethernet ユニットの登録します。

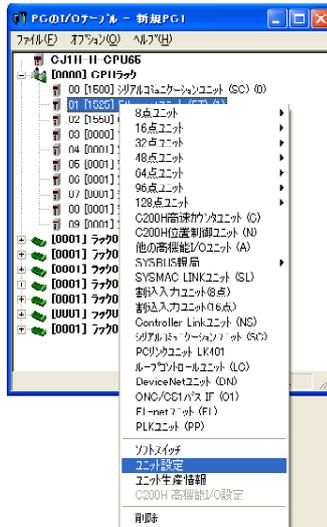


「PC の I/O テーブル」ダイアログを一度閉じて、「オンライン接続」にします。

その後、動作モードを「プログラム」モードにします。



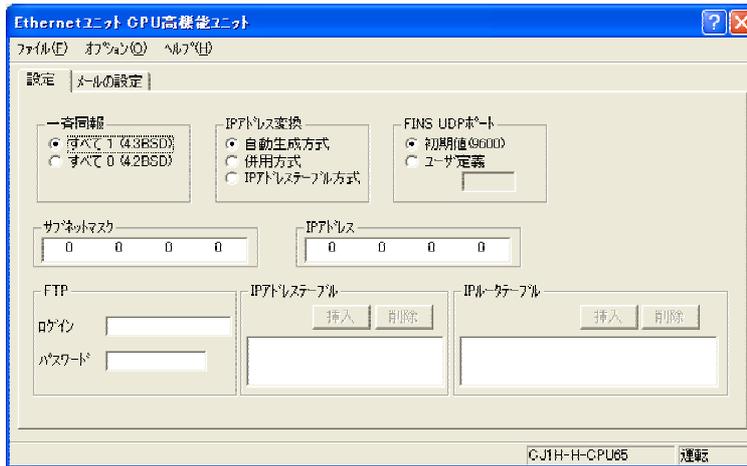
もう一度「PCのI/Oテーブル」を開き、ユニット設定を選択します。



<注意>

オンライン接続中に実行しないと、[ユニット設定]が選択できません。

「Ethernet ユニット CPU 高機能ユニット」ダイアログが表示されます。

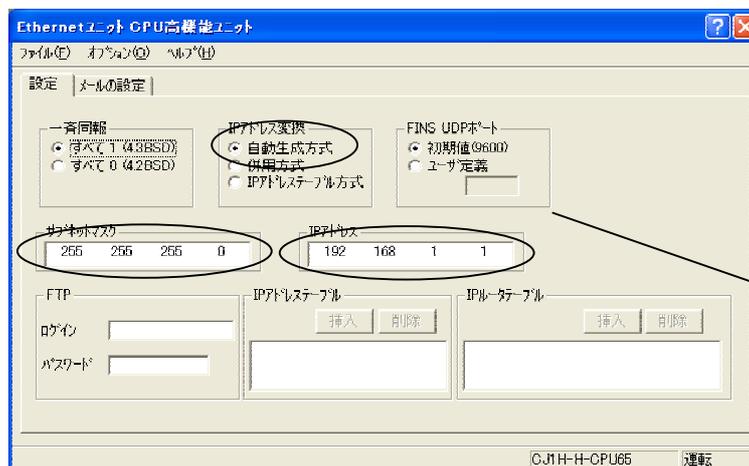


設定を行います。

IPアドレス変換の設定によって、設定内容は異なります。

自動生成方式の場合

IPアドレス変換は「自動生成方式」を選択し、サブネットマスク、IPアドレスを設定します。



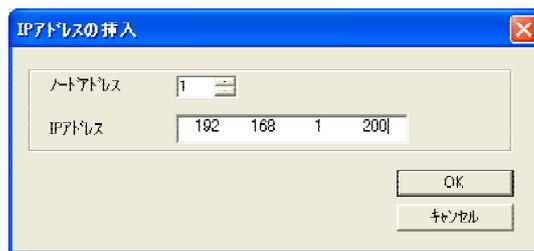
IPアドレスの最下位バイトが“1”なので、CJ1のノードアドレスは“1”となります。  
(モニタッチと接続する場合は、1~31の範囲で設定します。)

IP アドレステーブル方式の場合

IP アドレス変換は「IP アドレステーブル方式」を選択し、サブネットワーク、IP アドレスを設定した後、IP アドレステーブルの「挿入」をクリックします。



ネットワーク上のCJ1とV7の、ノードアドレスとIPアドレスを登録します。



IP アドレステーブル

ノードアドレス	IP アドレス
1	192.168.1.200
2	192.168.1.201

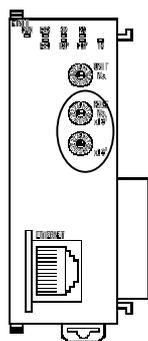
CJ1  
V7



設定が完了したら、設定内容を転送します。



CJ1 のイーサネットユニット ETN11 のロータリスイッチをノード No. と合わせる。  
 (スイッチを変更した際は電源を再投入してください。)



<注意>  
 ロータリスイッチとノードアドレス No. が異なると、ETN11 の ERC LED が点灯します。

5 . V-SFT での設定手順

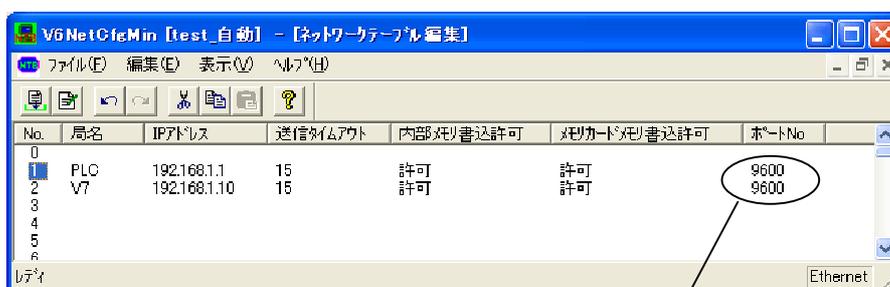
自動生成方式の場合

[システム設定] [PLCタイプ選択]で、「SYSMAC CS1/CJ1(Ethernet Auto)」を選択します。



[システム設定] [ネットワークテーブル設定]で、ネットワークテーブル編集をします。

以下の様に、CJ1 と V7 を登録します。

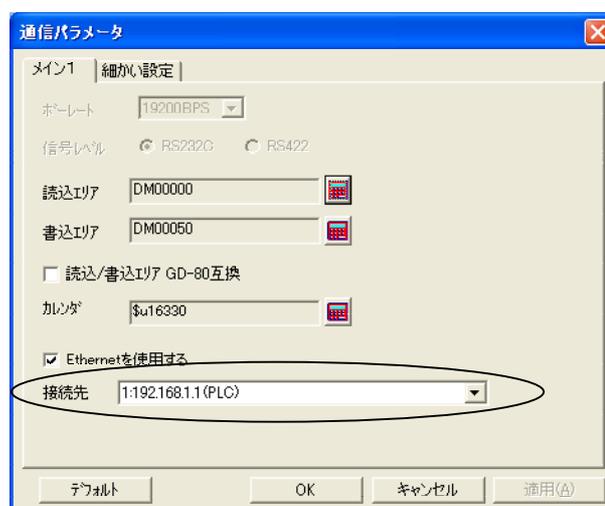


CJ1 が初期値の “ 9600 ” の場合は必ず V7 も “ 9600 ” にします。  
1-サ 定義で他の No. にした場合は、その No. に合わせます。

< 注意 >

CJ1 を割り当てるテーブルは 1 ~ 31 の範囲で設定してください。それ以外を設定した場合、「データにエラーがあります 46」が表示されます。

[システム設定] [通信パラメータ設定]で、接続先の CJ1 を選択します。

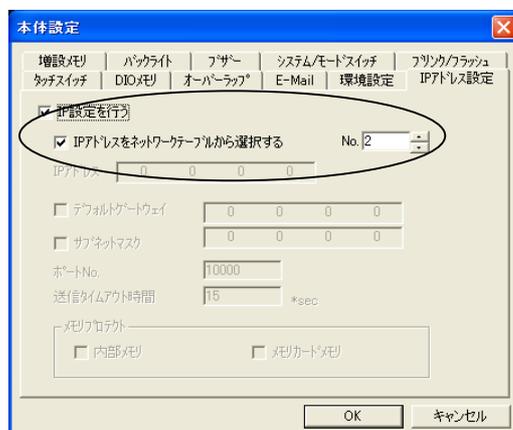


V7 本体のネットワーク No. 設定を行います。

本体の操作でネットワーク No. 設定をする場合はここで設定せず、へ進みます。

[システム設定] [本体設定]で「本体設定」ダイアログが表示されます。

「IPアドレス設定」タブでV7が登録されているネットワークテーブル No. を設定します。

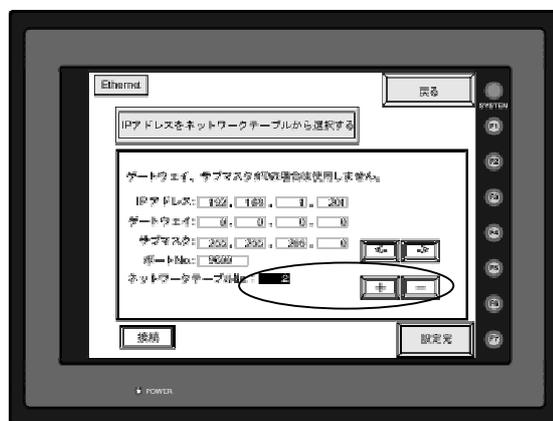


画面データを転送します。

V7 本体のネットワーク No. 設定を本体で行います。

の「IPアドレス設定」でネットワークテーブル No. を設定した場合は必要ありません。

「ローカルメイン」画面から[Ethernet]スイッチで、「Ethernet」画面に入ります。



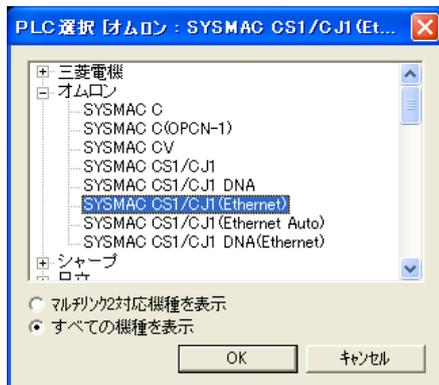
[IP アドレス設定]スイッチを押すと、スイッチ上の文字が[IP アドレスをネットワークテーブルから選択する]に変わり、ネットワークテーブル No. を選択できる状態になります。

V7 に割り当てたネットワークテーブル No. を設定し、[設定完]スイッチを押します。

[戻る]スイッチで「ローカルメイン」画面に戻ります。

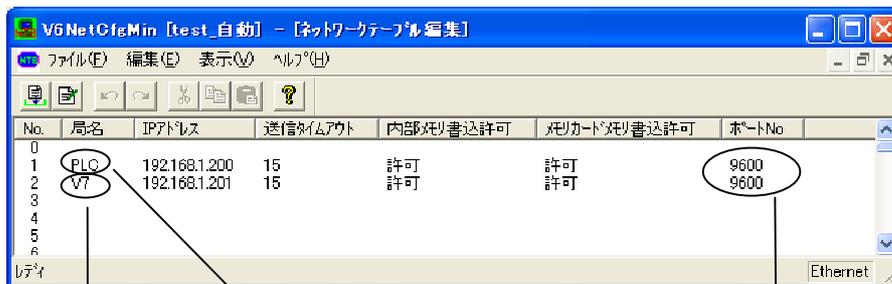
IP アドレステーブル方式の場合

[システム設定] [PLCタイプ選択]で、「SYSMAC CS1/CJ1(Ethernet)」を選択します。



[システム設定] [ネットワークテーブル設定]で、ネットワークテーブル編集をします。

以下の様に、CJ1 と V7 を登録します。



[PLC] ネットワークテーブル No. と CJ1 のノードアドレス No. を同じ No. に設定します。ノードアドレス = ネットワークテーブル No.

[V7]  
ネットワークテーブル No. と V7 のノードアドレスを合わせる必要はありません。(V7 のノードアドレスは通信パラメータ設定で設定します。)

CJ1 が初期値の "9600" の場合は必ず V7 も "9600" にします。1-ザ定義で他の No. にした場合は、その No. に合わせます。

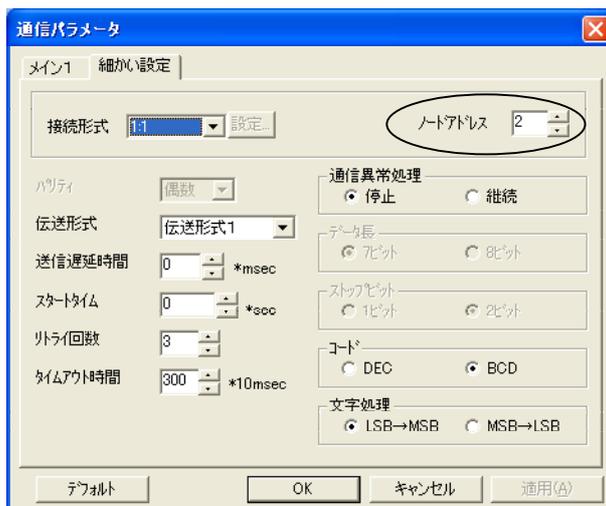
<注意>

- ・ CJ1 のノードアドレス No. とテーブル No. が異なると、「異常コードを受信しました 受信コード 90 05」が表示されます。
- ・ CJ1 を割り当てるテーブルは 1~31 の範囲で設定してください。それ以外を設定した場合、「データにエラーがありません 46」が表示されます。

[システム設定] [通信パラメータ設定]で、接続先の CJ1 を選択します。



「細かい設定」タブに切り換えて、V7 のノードアドレスを設定します。1 ~ 126 の範囲で設定します。



IP アドレステーブル

ノードアドレス	IPアドレス
1	192.168.1.200
2	192.168.1.201

CJ1  
V7

自動生成方式の場合の ~ を参照

お問い合わせは ...

 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208